

まちながシリコンバレーに サテライトオフィス開設

コーディネート強化図る

有明広域産業
技術振興会

平成二十六年度有明広域産業技術振興会総会が十日、大牟田市東萩尾町の有明工業高等学校で開かれ、本年度の事業計画などが決定。本年度は地域共同テクノセンターサテライトオフィスを銀座一平会長が「地域の経

済環境はまだまだに厳しく、踏ん張っていかねければならないと思



本年度の事業計画などを決めた総会

案、予算案が審議され、承認された。今年三月、銀座通り商店街にオープンしたまちなが

う。地元企業に有明高専の力を貸してもらい、良い波に乗って充実を図りたい」とあいさつ。続いて二十五年の事業報告、収支決算報告、監査報告があり、本年度は有明地域の企業と有明高専（地域共同テクノセンター）の交流促進を図り、地域産業の発展に寄与するという基本方針に添って事業を展開。会員企業と有明高専がより身近なものとなり、相談しやすい環境を整備するために地域共同テクノセンターのサテライトオフィスを今年三月、銀座通り商店街にオープンしたまちながシリコンバレーの一階に開設する。サテライトオフィスには、週に一度程度コーディネートオフィスを派遣して、技術のシーズと企業のニーズのマッチング強化を図り、地域企業の活性化や産業の振興を目指す。また、サテライトオフィスを活用してセミナーや有明広域産業技術振興会の活動などの紹介も行っていく。（小柳 聡）